

『庄内町ゼロカーボンシティ宣言』

～2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロに!!～

近年、世界各国、日本国内において猛暑や豪雨など、地球温暖化が要因とみられる気象災害が発生し、今後もさらに頻発化・激甚化すると予測されています。このような気候変動は気象災害だけでなく、自然環境や生態系の変化、健康リスクの増大、農林水産業への悪影響など、私たちの生活基盤に大きな影響を与えています。ここ庄内町も例外ではありません。

この事態に対応するため、2015年パリ協定では「平均気温の上昇を2度未満とする」目標が国際的に共有され、さらにIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では「よりリスクの低い平均気温の上昇を1.5度に抑えるために2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることが必要」とされています。SDGs目標13の「気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を講じる」、そのために、目標7の「すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」を本町は本気で取り組む必要があります。

これまで、庄内町では風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及を行ってきました。そして、『人と自然が輝き合う 日本一住みやすいまち』の実現のため、環境共生をテーマに町民一体となった町民節電所による省エネルギーの取組みを進めてきました。

庄内町は、豊かな自然を誇り、循環型の持続可能なまちづくりをさらに進め、未来へとつないでいくため、二酸化炭素排出量を2050年までに実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、町民や事業者と共に取り組んでいくことをここに宣言します。

令和2年11月7日

庄内町長 原 田 眞 樹